

京王線・井の頭線対象駅に設置

今年も駅のツバメの巣の下にフン受け板を設置します！

～けい太くんとしんごくんがツバメの成長を見守ります～

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、取締役社長：都村 智史）では、今年もツバメが巣作りをする春から初夏にかけて、駅の設置可能な箇所に、ツバメのフン受け板を設置します。

本施策は認定特定非営利活動法人バードリサーチの協力のもと、2014年度から実施しています。ツバメの生息数は全国的に減少しており、天敵が近づきにくい人通りが多い場所として駅構内に巣を作るため、**生物多様性施策の一環として**ツバメの子育てに配慮することや、ツバメのフンがお客さまや施設の床に落下し、ご迷惑をおかけしないようにすることを目的に実施しています。

フン受け板には我が子の様子を見て世話をしている愛情深いツバメのイラストや、京王電鉄キャラクター「けい太くん」と「しんごくん」が描かれています。

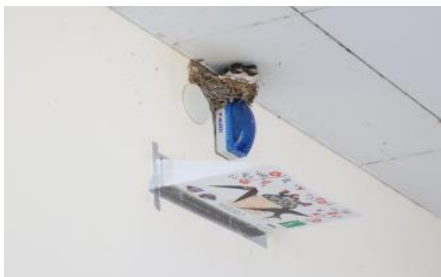
また、ツバメの生息地を守るこの取り組みはSDGs（持続可能な開発目標）の「15. 陸の豊かさを守ろう」に貢献しているため、SDGsのロゴマークが掲載されています。

1. 設置期間

4月～7月ごろ（ツバメが巣を作る時期を中心に設置しています）

2. 設置目的

- ・ツバメは天敵が近づきにくい人通りが多い場所に巣を作るため、その生息地を守る取り組みとして実施
 - ・ツバメのフンがお客さまや施設の床に落下することを防止
- ※駅の形状、巣の位置によってはフン受け板を設置できない場合があります。
※フン受け板はフンの落下を完全に防ぐものではありません。



《昨年の様子（長沼駅）》



《フン受け板デザイン》